



## H31年度 学校経営方針

育てたい人間像

高い志とグローバルな視野を持って地域社会に貢献できる人材

### メリット

- ・高い志を持った生徒
- ・市内の中心校で交通アクセスが良い
- ・モダンな校舎（生命館）
- ・同窓会の支援
- ・2つの県指定事業
- ・教員の授業力が高い

不易流行～守れ伝統・拓け未来

変わらぬ色の三つ柏  
若き生命 高き志操  
ペンの象る英知をもちて

### デメリット

- ・岐阜地区〇番目の進学校という位置付け（他の進学校と差別化しにくい）
- ・普通科であるためPRする活動が少ない
- ・地域連携の機会が少ない
- ・H31年以降急速な少子化

### 高校教育改革の動向

- ・H31～35 第3次教育ビジョン  
「ふるさと教育の推進」「ICT環境活用」
- ・H32年から大学入試改革
- ・H34年から次期学習指導要領

## 本校の現状と課題

### 1 生徒の実態

- 誠実で礼儀正しく、高い志を持って学ぶ生徒が多い。
- 頭髪・服装・行動ともに高校生らしく、人間関係も落ち着いている。
- 部活動への加入率は約90%で、文武両道を目指す生徒が多い。
- 一方で、挫折した経験は少なく、打たれ弱い面もある。

### 2 学習・進路状況

- 入学時の学習状況（S社模試 現3年生の入学時平均偏差値）

|      |        |        |        |         |
|------|--------|--------|--------|---------|
| 1年7月 | 国：60.5 | 数：60.5 | 英：59.6 | 総合：62.0 |
|------|--------|--------|--------|---------|

- ここ数年の本校の進学実績は、国公立大学を中心に堅実な成果（H30末国公立合格者現役191名）を上げている。現役200名合格が目標。
- また、H30末入試において現役で東京大学1名、京都大学3名、岐阜大学医学部医学科3名の合格者を出した。東京大学は2年連続で現役合格を出しており、難関国公立大、医学部医学科への意識の変化もみられる。
- 一方で、本校の進学実績の一つの指標となっているのは名古屋大学への合格者（H30末21人）。その支援体制の確立が今後の課題。現役30名合格が目標。
- 県指定事業「地域共創フラッグシップハイスクール事業」（H31～）を活用し、新学習指導要領や高大接続改革を踏まえた地域課題解決型の探究的な学習の推進が課題。
- 本年度の入学生より単位制を導入。1年生で数学や英語の分割授業を実施したり、選択授業を増やしたりすることにより、きめ細かな進路指導や多様な学びを実現することが課題。



## 本年度の学校経営上の重点事項

### 1 地域共創フラッグシップハイスクール事業

- 1年次 テーマ：地元岐阜の活性化のための方策を探究する  
内 容：「社会と情報」を中心に活動  
夏休みにフィールドワーク クラス内プレゼン発表
- 2年次 テーマ：発展途上国の開発援助のための方策を探究する  
内 容：「総合的な学習の時間」を中心に活動  
名古屋大学を訪問し、英語プレゼン発表と留学生との交流

### 2 単位制カリキュラムの実施と検証

- 履修登録のシステム開発とシラバスを活用したガイダンスの在り方の研究
- 1年次の数学、英語の分割授業の有効な活用 基礎力育成がポイント
- 2年次以降の選択科目や学校選択科目の開発と具体的授業計画の立案  
(名大MIRAI、オーストラリア研修、フラッグシップハイスクール事業の活用)

### 3 進学指導重点校事業

- 1年生から主体的かつ継続的に難関大学を目指す生徒を育成する。
- H32年からの大学入試改革を踏まえた、新しい進路指導体制を確立する。  
(民間英語検定、記述式問題、AO入試、eポートフォリオへの対応)

### 4 アクティブラーニング型授業の推進とICT環境の活用

- 各教科においてホワイトボードと電子黒板機能付きプロジェクターを有効に活用する。

### 5 組織的な生徒指導・教育相談体制

- 生徒指導、教育相談、学年、保健室、担任の情報共有と連携により、組織的な生徒指導・教育相談体制を構築する。また、特別支援教育の充実を図る。

### 6 国際交流の推進

- グローバルな視野を持たせるため、オーストラリア研修を積極的に活用する。

### 7 広報活動

- 新聞などメディアを積極的に活用して広報活動を推進する。
- 中学生・保護者にアピールするため、ホームページを積極的に活用する。

### 8 働き方改革2019の推進

- 「早く家庭に帰る日」「ノー残業デー」の徹底。管理職が最後の施錠をする。
- 学校閉庁日の設定(8月13日～15日)、時間外の留守電話対応

多様な学びの実現

## 今後の方向性

### 1 進学重視型単位制高校としてのコンセプトの確立

- 平成31年度入学生の教育課程を着実に実施するとともに、3年間で進学重視型単位制高校としての基盤をつくる。

### 2 フラッグシップハイスクール事業、ICT環境の活用、単位制を一体的に推進。